

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果まとめ 2

学校教育目標に照らし合わせながら、生活・学習状況調査についてのまとめをお知らせします。割合の数値は、児童が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と肯定的に答えた割合を足したものです。

学校教育目標「こころ豊かな たくましい子」

※小数点以下略

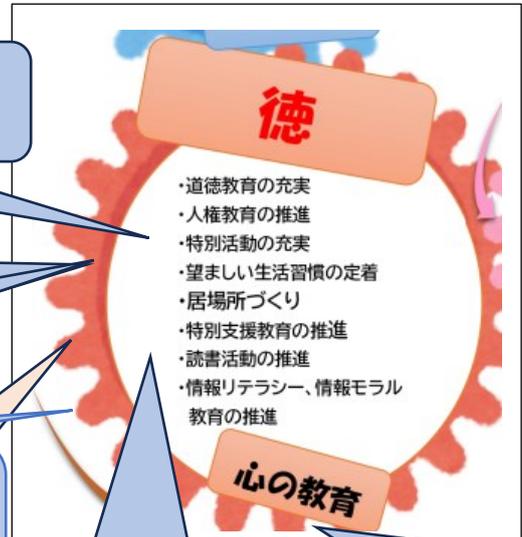
- ・「将来の夢や目標をもっている」…92%
- ・「人の役に立つ人間になりたい」…100%

- ・「自分には、よいところがあると思う」…100%
- ・「人が困っているときは、進んで助ける」…100%

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う」…100%

- ・「学校に行くのは楽しい」…100%
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う」…100%
- ・「友達関係に満足している」…100%
- ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」…100%

- ・「家におよそどれくらい本があるか」26～100冊が53%
- ・「新聞は月に1～3回程度、またはほとんど読まない」…92%



- ・「朝食を毎日食べている」…92%
- ・「毎日同じ時刻に起きる」…100%「寝る」…85%

- ・「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」…100%

地域の光に

- ・「協同的探究学習」を
発展させ ICT と融合
させた「加古川型スマ
ート探究学習」の推進
- ・端末活用を生かし、地域の課題解決について積極的に関与し地域貢献。
- ・体験学習の充実

使命

- ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」…100%
- ・「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表している」…100%
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」…100%
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる」…92%
- ・「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる」…92%

- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」…100%
- ・「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う」…100%
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」…100%

- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたい」…77%

【ICT 教育の推進】



・「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用したか」

ほぼ毎日…**92%**(兵庫県 23%、全国 25%)

・「5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を利用することについての設問」

- ① 自分のペースで理解しながら、学習を進めることができる。 ……**100%**(兵庫県 83%、全国 86%)
- ② 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。 ……**100%**(兵庫県 90%、全国 92%)
- ③ 楽しみながら学習を進めることができる。 ……**100%**(兵庫県 83%、全国 86%)
- ④ 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。 ……**100%**(兵庫県 88%、全国 90%)
- ⑤ 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。 ……**100%**(兵庫県 76%、全国 79%)
- ⑥ 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。 ……**100%**(兵庫県 82%、全国 86%)
- ⑦ 友達と協力しながら、学習を進めることができる。 ……**100%**(兵庫県 84%、全国 87%)
- ⑧

個別最適化

協働的な学び

・「学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っているか」
……30分以上、1時間より少ない 54%(兵庫県 24%、全国 24%)

・「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴をするか」
……30分以上、2時間より少ない 62%(兵庫県 31%、全国 31%)

・「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束をしたことを守っているか」または、「スマートフォンを持っていない」 ……92%(兵庫県 84%、全国 85%)

・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるか」
……100%(兵庫県 77%、全国 78%)

生活・学習状況調査 まとめ

【成果】

- ◎自己肯定感が高く、「人の役に立つ人間になりたい」気持ちや「将来の夢や希望をもって粘り強く取り組む」態度が育っている。また、「学校へ行くのが楽しい」と答える児童は多く、「普段の生活の中で幸せと感じることが多い」などの満足度から良好な友達関係を築いていることや、学校が安心な居場所づくりとなっていることなどを読み取ることができる。
- ◎従来から、課題解決に向けて、自分で考え、取り組もうとする姿勢が授業の中で見られる。話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることや、互いの意見のよさを生かして解決方法を考えるなど、「協働的な学び」を積極的に取り組んでいることがうかがえる。
- ◎ICT 機器の活用は、Chromebook を文房具として定着し、学習活動の中で情報を集めて整理して、調べたことを工夫してまとめて発表するなどの先進校の実践ができています。

- ➡引き続き、道徳教育・人権教育を充実させたいじめを許さない醸成づくりと、ICT 機器を積極的に活用しながら、協働的な学びの中で様々な多様な価値にふれあい成長できる環境づくりを推進していきたい。
- ➡日頃から、地域や保護者に支えられ、様々な地域の体験学習を実施しているが、これからも地域・家庭との連携を図りながら、「ふるさとを愛する心」を育てていきたい。

【課題】

- ▲「家庭の蔵書数」の調査では、本校は、「家におよそどれくらい本があるか」26～100冊が 53%となった。また、「新聞をよんでいるか」に対して「新聞は月に1～3回程度、またはほとんど読まない」が 92%に対し、「ICT 機器での動画視聴(30分から2時間以内利用)62%となり、情報収集の方法が変わり、活字離れが課題となっている。
- ➡引き続き、加古川市や兵庫県が進める電子図書を児童に紹介し、いつでもどこでも読める環境として Chromebook を活用させた読書の推進をしていきたい。また両荘みらい学園と併設された図書館などの利用もすすめる。
- ➡情報収集の媒体が本や新聞からインターネットや動画などに変わる中、情報モラルについて、インターネットトラブル防止講座などで情報をアップデートしながら、児童が主体となって委員会活動等でルールづくりをしていく。

生成 AI のような先進技術がめまぐるしく進化する今を生きぬくために、確かな学力の定着とともに、実生活と結び付け、思考錯誤しながら、論理的思考を働かせるなど、しっかり自分の頭で考える習慣を身につけさせたいと考えます。また、児童の資質・能力が螺旋的に高まるよう指導事項の系統性に留意しながら、これからも本校の強みである体験学習(リアル)と ICT 機器(デジタル)を積極的に活用しながら、「思考力・判断力・表現力」を育成し、児童の主体的に学ぶ態度につなげていきたいと思えます。